

結成20周年
新たな大躍進
に向け出発!

月刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

99. 2.10 No. 4917

集まろう!

3月13日(土) 13時30分
労働者福祉センター・大ホール

結成 20周年記念レセプション

動労千葉二〇周年記念レセプション

日時 一九九九年三月十三日十三時半

場所 労働者福祉センター 大ホール

内容 執行委員長あいさつ・来賓挨拶・組合表彰

アトラクション・会食 等

新たな一歩を踏み出そう!

当時本部に集っていた革マルの組合私物化による動労の目にあまる変質に抗し、先輩たちが創り上げてきた動労の闘う伝統を継承し発展させるために、私たちが動労千葉を結成したのが一九七九年三月三〇日でした。以来二〇年が経過しました。

この二〇年間は、三里塚ジェット燃料貨車輸送阻止闘争、そして何よりも八〇年代の冒頭から始まった国鉄分割・民営化という、労働運動に対する戦後最大級の攻撃とも言えるような組織破壊攻撃に対抗する闘いははじめ、息つく間もない闘いの日々でした。



思えば非常に長いようでもありますが、私たちにあってはあつと言ふ間の二〇年であったように感じます。私たちは、昨年の第二六回大会において、「大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう」というスローガンを掲げました。

動労千葉にとって、結成二〇周年という大きな節目となる今年九九年は、奇しくも、後に歴史の転換点として記憶されるで

交流センター第6回

定期全国総会開催

激動こそ好機

二月六日七日、浜松において第六次全国総会が開催され、二日間の真剣な討論を通し、九九年の闘う方針を決定し、熱い想いを胸に全国に就いた。

動労千葉からは田中書記長が「結成二〇周年を節目に飛躍をかけて闘う」と発言し、ひととき大きな拍手がよせられた。

また、「まとめ」で中野委員長は、「交流センター一〇年の到達地平をしっかりと踏まえ確信をもって、国鉄闘争、新ラインドライン闘争を軸に、今年前半期総決起に向けて全力で立ち上がろう」と檄を發し、「肝心なことは時代の先駆者たらんとする心意気こそ大切、三労組の団

あろう分岐点と重なりました。国鉄闘争と新ガイドライン・有事立法をめぐる攻防戦は、今年まったなしの正念場です。新たな飛躍をめざして闘いぬくに相応しい年です。

三月一三日は、労働者福祉センターに全力で結集し、この二〇年団結を堅持し、ともに闘いぬいてきた組合員・家族・OB・物心両面にわたり支えてくださった全国の仲間達とともに新たな一歩を踏み出していこう!

結で成功させた「一一・八」を更に発展させ、大失業と戦争攻撃をうち破ろう。当面百万人署名、「ガイドライン春闘、地方選の勝利をかちとり、戦後最大の反動に立ち向かおう」と鮮明に闘いの方向を指し示した。今始まった巨大な激動からすれば確かにわれわれの力は小さい。しかし、この間の奮闘を通して、巨万の労働者の決起の水路握りしめてきた。この発展の中に日本労働運動の未来も、国鉄闘争勝利の展望も秘められている。この道を確固として歩もうという決意を全員がうち固めた。闘う労働組合の全国ネットワーク運動の先頭に立ちがらばろう。

大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!